

難聴の聞こえ の改善方法

Vol.2

「不思議な聴覚補充現象」



不思議と思わんかの？

聞き取りにくいおばあさんのために、大きな声で話し掛けたのに、逆に「うるさい」と返したおばあさん。

小さな声が聞き取りにくいはずなのに？
そのために配慮して大きな声で話し掛けたのに？

これがいわゆる「聴覚補充現象」というものじゃ。

中面の大沼先生の解説にもあるが、感音難聴では大きすぎる音には敏感で不愉快になるという矛盾した特徴があるのじゃよ。

今回のポイントじゃ!

『むやみやたらに耳元で大きな声で話し掛けるのではなく、顔を見せながらはっきりと話し掛けることじゃ。さすれば双方のコミュニケーションが円滑になるであろう』



難聴の聞こえの改善方法

1) 補聴器を装着した聞こえとは

耳の遠い人には耳元で大きな声を出せばよいと考えている人が多いのですが、必ずしもそうではありません。感音難聴では小さな音が聞こえない一方で大きすぎる音には敏感で不快になってしまうという矛盾した特徴（聴覚の補充現象）があります。補聴器のフィッティングが一筋縄でいかないのはこのためです。弱い音は大きく聞こえるように、一方で強すぎる音は不快レベルを超えない程度に弱くするという調整をしなければ使い物になりません。

補聴器は、着けるとうるさいだけで役に立たないと敬遠された時代がありました。最近のデジタル式補聴器はかなり進歩し、雑音を抑え人の声を聞き取りやすくする機能を備えたものが主流です。補聴器を通信販売などで買った結果合わずに使わないままに終わったという人もいますが、医療機器である補聴器は本来オーダーメイドすべきものです。まず耳鼻咽喉科学会で認定された「補聴器相談医」を受診し、購入後は定期的に相談医や専門店を訪れ、常に自分の聞こえに合った状態で使用することが重要です。



2000 年以降、補聴器はファッションブルに

しかし、補聴器をつけても完璧に聞こえが回復するわけではありません。聞きやすい環境を周囲が作ってあげることも大切です。BGMや付けっ放しのテレビの音など、聞こえの妨げとなる音は消して話しましょう。新聞紙をめくる音、台所の水洗い音、包装紙やレジ袋を開ける音、ドライヤー、洗濯機、掃除機の音などがしているときには極端に聞こえが悪くなります。

2)人工内耳、人工中耳の違い

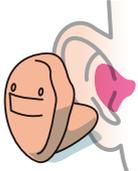
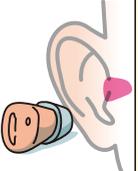
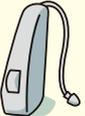
耳の手術による聞こえの改善方法には「人工内耳」と「人工中耳」があります。人工中耳は中耳に埋め込みをする体内型補聴器で、伝音難聴に適応されます。一方、内耳に埋め込み手術をするのが「人工内耳」です。21世紀最大の発明とも称される人工内耳は、蝸牛の有毛細胞の損傷が原因の感音難聴にのみ適応できます。しかも聴力の損失程度が重度であればあるほど回復の幅が大きいものです。ですから補聴器が十分に役立つ軽・中等度の難聴はその対象ではありません。人工内耳手術後の聴力レベルは30デシベル前後になりますから、1m範囲にある小さな音や声でも聞こえるほどです。

しかし、人工内耳を装着した耳でも、補聴器装用者と同様の以下のような難点があります。

- ①周囲に雑音があると聞き取りにくい
- ②離れた人の声が聞きにくい
- ③大勢の人の中での会話が聞きにくい

その意味では、音はよく聞こえるようになった人工内耳装用者であっても、音声を確かに理解するための情報保障が必要な聴覚障害者であるという認識が大事です。

< 補聴器の種類と特徴 >

種類 (タイプ)	耳あな型		耳かけ型		ポケット型
	フルサイズ	カナル	本体レシーバ	外耳道レシーバ	
特徴					
短所	耳をふさぎ 圧迫感	強い音が 出せない	メガネの 邪魔になる	強い音が 出せない	イヤホンコード が邪魔になる
長所	汗が 入りにくい	耳型オーダーで フィットする	多機能・ 高性能	耳をふさかず 自然な音	強い音が出る 操作が簡単
対応聴力	中等度・ 高度	軽度・ 中等度	高度・ 重度	軽度・ 中等度	重 度
目 立 ち	横から 目立つ	ほとんど 見えない	後ろから 目立つ	目立たない	目立つ
価 格	やや高い	高 い	安 い	高 い	安 い
サ イ ズ	やや大きい	小さい	やや大きい	小さい	大きい
装着位置	耳の中	耳の奥	耳の上	耳の上	胸回り

※この他に骨導型補聴器(伝音難聴用)などがある。最近の補聴器は形状やカラーが多彩になり、防水性の高いものやスマートフォン対応機種などもある。

監修・著：大沼 直紀先生

医学博士(聴覚障害学)
 国立大学法人筑波技術大学名誉教授・元学長
 東京大学先端科学技術研究センター元客員教授
 教育オーディオロジー(聴覚障がい児の聞こえを
 補償する科学)の第一人者



大沼直紀の「ちょっと小耳に」

【耳の日余話】

「耳の日」が3月3日なのはよく知られていますが、6月6日は「補聴器の日」、9月9日は「人工内耳の日」です。「耳の日」(1956年制定)を3月3日としたのは、「ミミ」の語呂合わせと、「3」が耳の形に似ているからですが、もう一つの理由があります。アレキサンダー・グラハム・ベルの誕生日(1847年3月3日)でもあったからです。

私たちが日常恩恵を受けているあらゆる情報通信機器の原点はベルが発明した電話機にあります。ベルは16歳の若さで言葉を教える教師生活を開始しています。「視話法」という発音指導法を開発し、耳の聞こえない子供のための指導を実践しました。実はベルのお母さんは聴覚障害者でした。またベルは教え子だった聴覚障害者のメイベルと結婚し生涯の伴侶とします。

皮肉なことに、電話の恩恵にあずからなかった聴覚障害者にとって、電話の普及は耳の聞こえる人たちとの情報格差を生み出すもとになってしまったのです。しかし、ベルは電話事業で得た莫大な財産を聴覚障害者の教育支援に生涯充て続けました。電話の他にも水中翼船など様々な発明を残したベルに、あなたの本業は何ですかと質問すると、私は話すことを教える教師ですと答えています。

また、盲聾啞の障害のある少女ヘレン・ケラーが言葉を獲得し、あのような成長を遂げたのはベルのお陰でした。家庭教師サリバン先生をヘレンのもとに遣わしたのはベルだったのです。それは奇しくも3月3日のことでした。

ヘレン・ケラーの有名な自叙伝の冒頭には次の献辞が書かれています。「遠く離れた人とも話すことを(電話機により)可能にし、耳の聞こえない人にも(視話法により)話すことを可能にした恩師ベルに捧げる」と。



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



シオノギ製薬

責任編集：塩野義製薬 CBF-PJ

禁無断転載

© 2018 SHIONOGI

CBFPJ-V-002 (A1)